

2027年3月期
第２四半期（中間期）
決算説明資料

2026年11月

株式会社ソフトテックス

証券コード：550A



Index

01 2027年3月期第２四半期（中間期）決算概要

02 2027年3月期 業績予想

03 トピックス

04 参考資料

01

2027年3月期
第２四半期（中間期）
決算概要

First-Half Financial Results Summary

2027年3月期 第２四半期（中間期）は対前年で増収減益

- システム開発・技術者支援を行う「ソフトウェア開発サービス」と、医療機関向けシステムの導入・保守を行う「医療ITサービス」を展開。
- 両サービスともに売上高は増加したものの、売上原価の増加や技術者の稼働率低下、請負案件比率の減少等により減益となる。

売上高

2027年3月期中間期

17.7億円

前年同期比 ＋2.3%

ソフトウェア開発の売上

2027年3月期中間期

13.0億円

前年同期比 ＋2.3%

医療ITの売上

2027年3月期中間期

4.7億円

前年同期比 ＋2.5%

営業利益

2027年3月期中間期

41百万円

前年同期 ▲53百万円

経常利益

2027年3月期中間期

27百万円

前年同期 ▲68百万円

経常利益率

2027年3月期中間期

1.5%

前年同期比 ▲4.0 PT

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期 第２四半期（中間期）のポイント（対前期）

➤ 売上高は増加するも、原価高騰や稼働率低下、請負案件比率の低下により減益。

（百万円）	2026年3月期中間期	2027年3月期中間期		
	実　績	実　績	増減額	増減率（%）
売上高	1,738	**1,779**	**41**	**＋2.3**
ソフトウェア開発	1,277	1,305	28	＋2.3
医療IT	461	473	12	＋2.5
売上総利益	450	**406**	**▲44**	**▲9.6**
売上総利益率（%）	25.9%	**22.9%**	—	—
販売管理費	355	**365**	**10**	**＋2.9**
販売管理費率（%）	20.4%	**20.5%**	—	—
営業利益	94	**41**	**▲53**	**▲56.4**
営業利益率（%）	5.4%	**2.3%**	—	—
経常利益	95	**27**	**▲68**	**▲71.3**
経常利益率（%）	5.5%	**1.5%**	—	—
当期純利益	63	**15**	**▲48**	**▲74.7**
当期純利益率（%）	3.6%	**0.9%**	—	—

POINT

売上高

両サービスともに増収

ソフトウェア開発サービス、医療ITサービスともに売上高の伸長により前年同期増を達成。売上構造としては、前年同期より技術者支援の売上割合が増加

売上総利益率

人件費増加、有償稼働率低下により減益

新入社員の増加に伴う人件費の増加に加え、技術者の稼働率低下による売上原価率の上昇を主因として、前年同期比で売上総利益率が低下

営業利益・経常利益・当期純利益

販管費微増、売上原価の増加により減益

販管費は微増にとどまったものの、売上原価の増加による減益影響を補いきれず、営業利益、経常利益及び当期純利益は前年同期比で減少

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期 第２四半期（中間期）のポイント（対計画）

➤ 売上高の減少に加え、稼働率の低下や原材料価格の高騰等による減益影響を補いきれず、減収減益。

（百万円）	2027年3月期中間期	2027年3月期中間期		
	計　画	実　績	増減額	増減率（%）
売上高	1,858	1,779	▲79	▲4.3
ソフトウェア開発	1,375	1,305	▲70	▲5.1
医療IT	483	473	▲10	▲2.1
売上総利益	464	406	▲58	▲12.5
売上総利益率（%）	25.0%	22.9%	—	—
販売管理費	393	365	▲28	▲7.2
販売管理費率（%）	21.2%	20.5%	—	—
営業利益	71	41	▲30	▲41.9
営業利益率（%）	3.8%	2.3%	—	—
経常利益	62	27	▲35	▲55.9
経常利益率（%）	3.4%	1.5%	—	—
当期純利益	36	15	▲21	▲55.6
当期純利益率（%）	1.9%	0.9%	—	—

POINT

売上高

両サービスにおける受注・案件進捗の未達

ソフトウェア開発サービスにおける受注・案件獲得の未達や案件進捗の遅れ、医療ITサービスにおけるシステム導入時期の後ろ倒し等により、全体で減収

売上総利益率

原材料価格高騰や請負案件比率の低下

ソフトウェア開発サービスでは、技術者稼働率の低下や外注の増加、高利益率の請負案件の受注未達により減益。医療ITサービスでは、導入器機の仕入れ価格高騰及び貸倒損失等の計上により減益

営業利益・経常利益・当期純利益

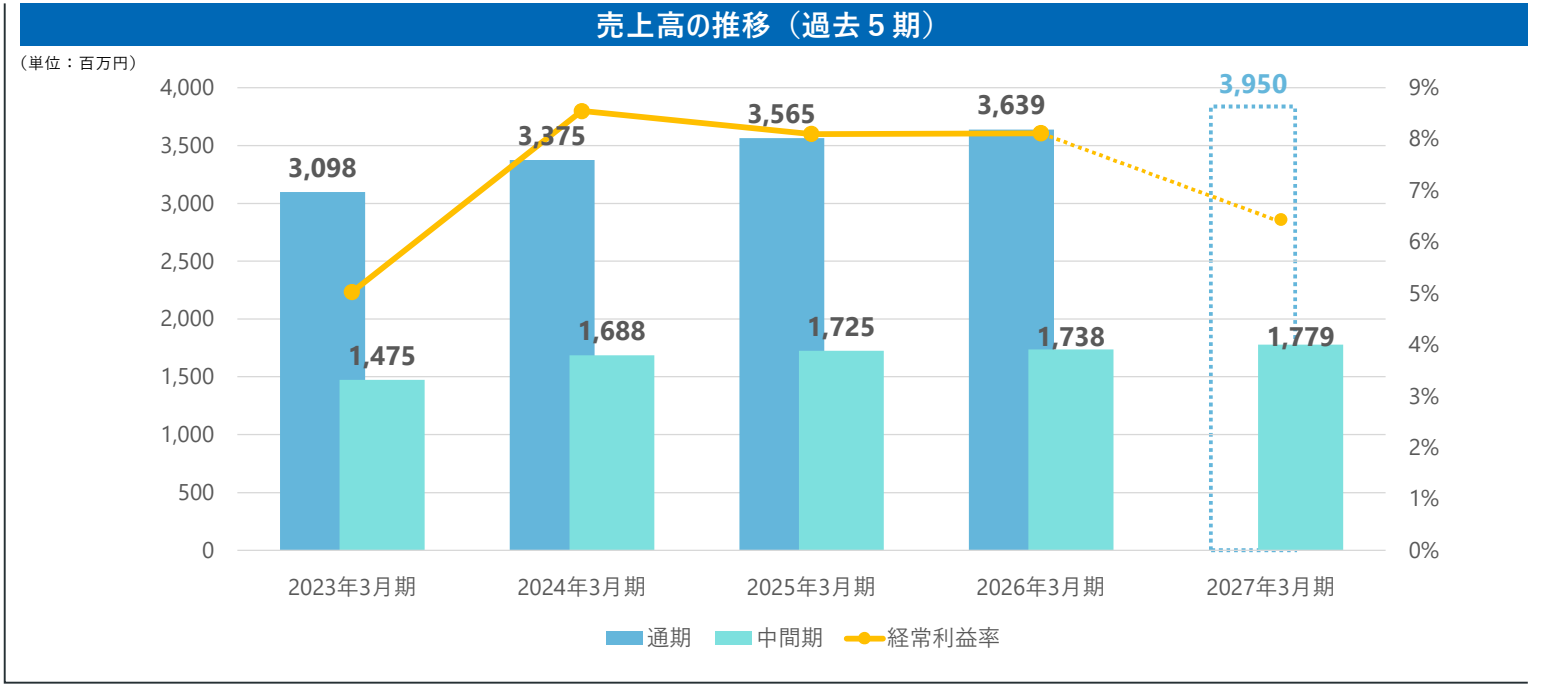
販管費の抑制では減益影響を補いきれず

モダナイズソリューションの利益増加や販管費の抑制では、売上高の減少や原材料高騰等による減益影響を補いきれず、営業利益は計画を下回り、経常利益及び中間純利益も計画を下回る

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

売上高（中間期･通期）の推移

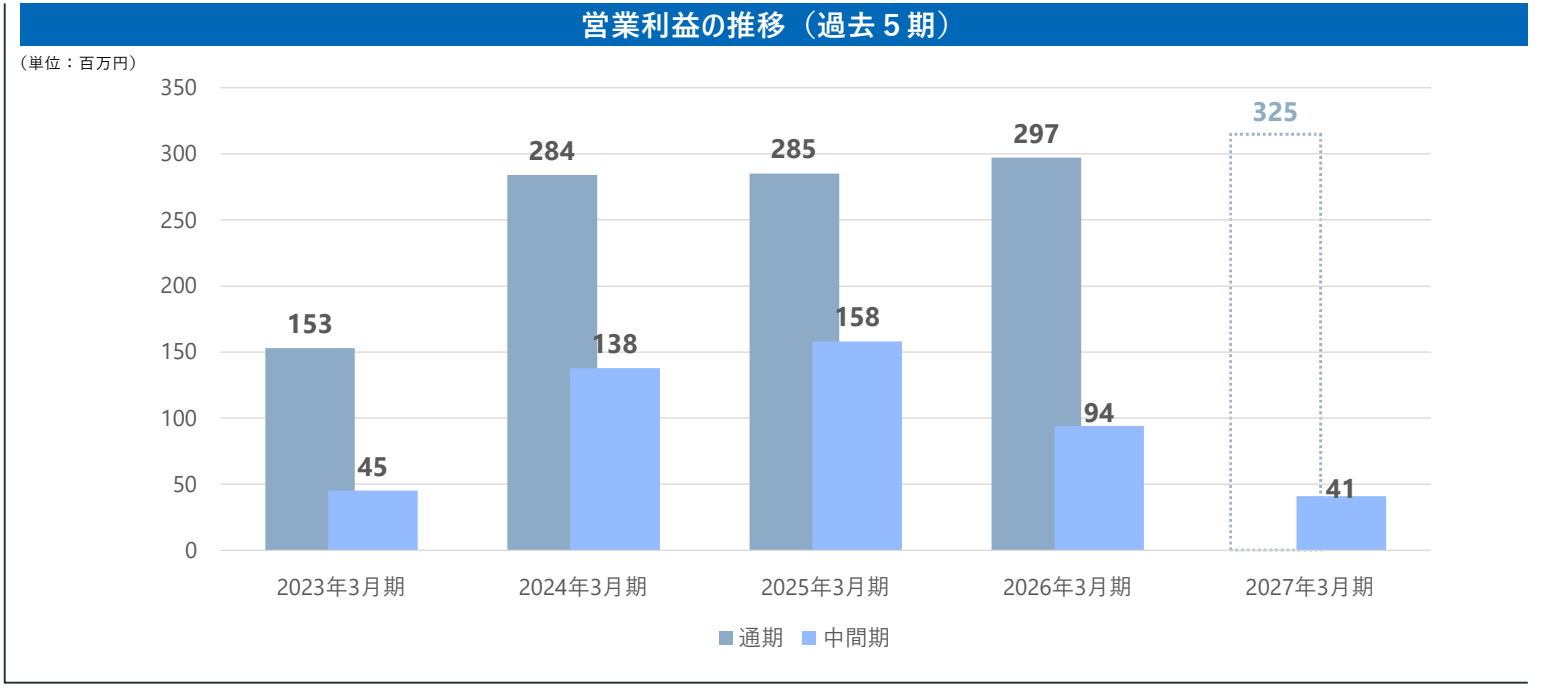
➤ 結果的に、これまで持続的に事業規模の拡大、収益性、財務基盤が向上してきた。



Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

（中間期・通期）の推移

➤ 結果的に、これまで持続的に事業規模の拡大、収益性、財務基盤が向上してきた。

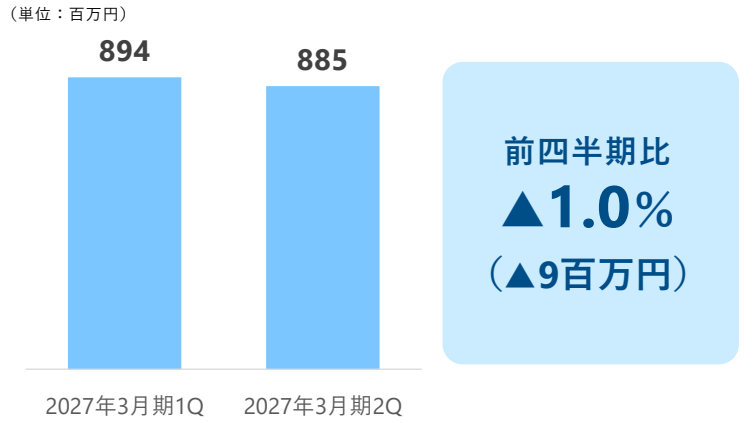


Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

四半期業績の推移

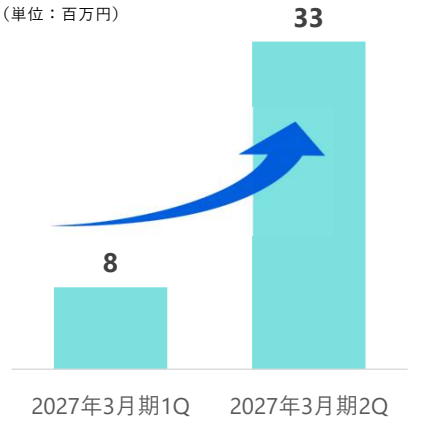
➤ 第１四半期と比較して売上高は横ばい、営業利益は大幅増となる。

売上高



前四半期比
▲1.0%
（▲9百万円）

営業利益



前四半期比
＋299.0%
（＋24百万円）

✓ 売上高は、第１四半期比1.0%減となり概ね横ばいで推移

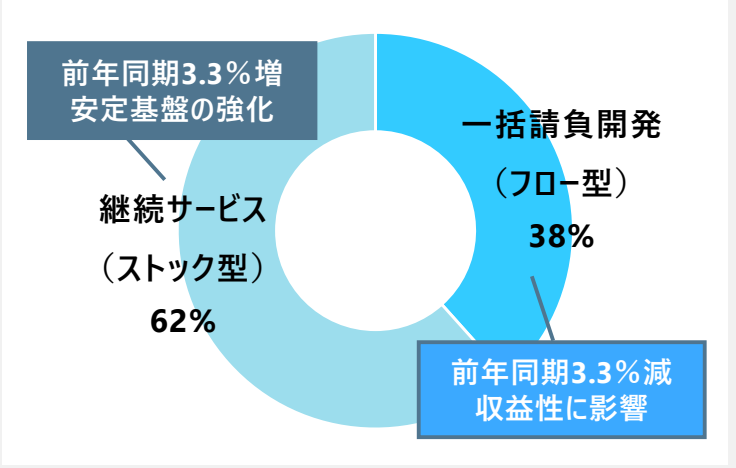
✓ 営業利益は、請負案件の前期収益化等の影響により第１四半期比299.0%増

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

ストック型ビジネスと大手SIer向け売上により、安定成長を継続

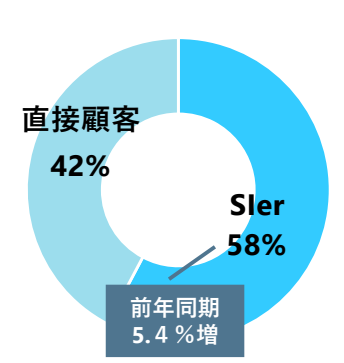
- 継続（支援・保守）サービスを中心としたストック型売上が全体の過半数を占め、安定的な売上拡大に寄与。
- ソフトウェア開発ではSIer向け売上が5割超を占め、安定収益基盤を形成。
- 医療ITサービスでは売上の9割超が医療機関向けの直接取引であり、全社で直接顧客比率が高い構成を維持。

ストック＆フロー別売上高割合（2027年３月期中間期）

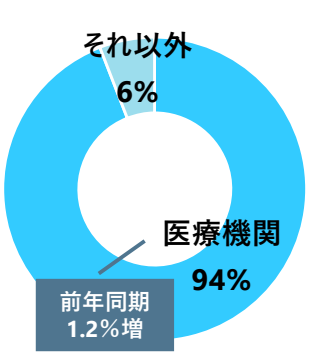


サービス別顧客割合（2027年３月期中間期）

ソフトウェア開発サービス



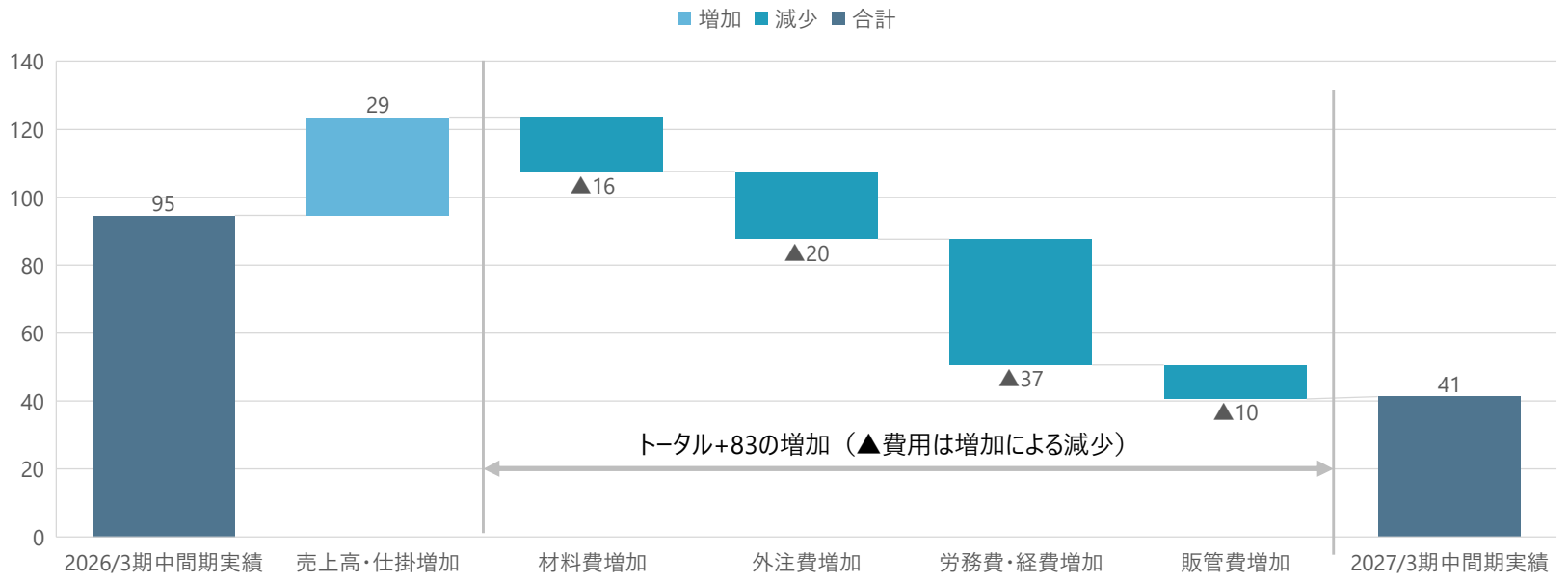
医療ITサービス



Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

営業利益の増減分析

- 営業利益は53百万円減少（営業利益率5.4％から2.3％）
- 売上高総利益率22.9％（前年同期比▲3.0PT）



Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

B/Sの前期末比較と主なポイント

- 資産は現金及び預金の増加等により増加し、純資産は自己株式の処分等により増加。負債は概ね横ばいで推移
- 自己資本比率は、72.1％（前期同期比＋2.8PT）

（単位：百万円）	2026年3月期（実績）	2027年3月期中間期（実績）	増減額	主な増減要因
流動資産	1,785	**2,009**	+224	現金及び預金 +374 売掛金及び契約資産 ▲152
固定資産	206	**202**	▲4	
資産合計	1,991	**2,212**	+221	
流動負債	460	**459**	▲1	未払金 ▲10 未払消費税等 ▲10 賞与引当金 +17 役員退職慰労引当金 +7
固定負債	151	**157**	+6	
負債合計	611	**616**	+5	
純資産合計	1,379	**1,595**	+216	資本剰余金 +155 自己株式 +66
負債･純資産合計	1,991	**2,212**	+221	

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

キャッシュフロー比較

- 営業キャッシュフローは、主に売上債権及び契約資産の減少により、201百万円の収入となった。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の処分及び株式の発行による収入により、177百万円の収入となった。

（単位：百万円）	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	増減額	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲62	201	+263	税引前中間純利益 ▲68 売上債権及び契約資産の減少 +181 賞与引当金の増加 +80 法人税等の支払額 +38
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2	▲4	▲2	有形固定資産の取得による支出 ▲3 無形固定資産の取得による支出 +1
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲57	177	+234	自己株式の処分による収入 +186 上場関連費用の支出 ▲17 株式の発行による収入 +62
現金及び現金同等物の増減額	▲122	374	+496	
現金及び現金同等物の中間期末残高	841	1,286	+445	

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.



02

2027年3月期 業績予想

Earnings Forecast

通期業績予想に対する進捗状況＜１＞

➤ ソフトウェア開発サービスの伸長と医療ITサービスの安定的な成長で全体の増収を図る。

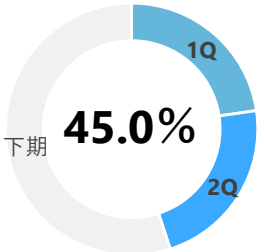
（百万円）	2026年3月期	2027年3月期			2027年3月期中間期		
	実績	計画	増減額	増減率（%）	実　績	対計画差額	進捗率
売上高	3,639	**3,950**	**311**	**＋8.5**	**1,779**	**2,170**	**45.0%**
ソフトウェア開発	2,656	2,963	307	＋11.5	1,305	**1,657**	**44.1%**
医療IT	983	987	4	＋0.4	473	**513**	**48.0%**
売上総利益	993	**1,089**	**96**	**＋9.7**	**406**	**682**	**37.3%**
売上総利益率（%）	27.3	**27.6**	—	—	**22.9%**	—	—
販売管理費	695	**764**	**69**	**＋9.8**	**365**	**398**	**47.9%**
販売管理費率（%）	19.1	**19.3**	—	—	**20.5%**	—	—
営業利益	297	**325**	**28**	**＋9.5**	**41**	**284**	**12.7%**
営業利益率（%）	8.2	**8.2**	—	—	**2.3%**	—	—
経常利益	295	**322**	**27**	**＋9.0**	**27**	**294**	**8.5%**
経常利益率（%）	8.1	**8.2**	—	—	**1.5%**	—	—
当期純利益	213	**210**	**▲3**	**▲1.4**	**15**	**194**	**7.6%**
当期純利益率（%）	5.9	**5.3**	—	—	**0.9%**	—	—

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

通期業績予想に対する進捗状況＜２＞

➤ 下期の売上拡大と利益確保により、中間期の計画未達分の挽回し、通期業予想の達成を目指す

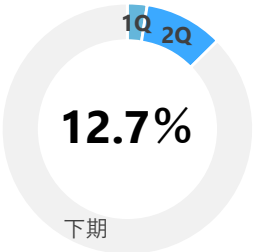
売上高



中間実績
1,779百万円

通期予想
3,950百万円

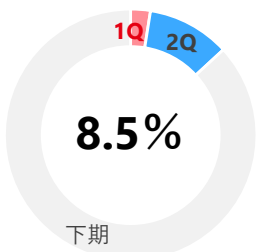
営業利益



中間実績
41百万円

通期予想
325百万円

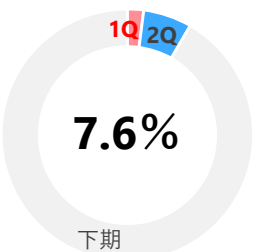
経常利益



中間実績
27百万円

通期予想
322百万円

当期純利益



中間実績
15百万円

通期予想
210百万円

改善POINT

売上高

両サービスの伸長による売上拡大を目指す

下期は、モダナイゼーションの安定受注・進捗に加え、モビリティ及び防災ソリューションの案件増加によるソフトウェア開発サービスの伸長を見込む。医療ITサービスも堅調に推移し、全体の売上拡大を図る

売上総利益率

増益効果を取り込み、利益の回復を図る

売上拡大に伴う労務費・経費の増加を見込む一方、技術者の有償稼働率の改善や外注活用の適正化により原価率の上昇を抑え、売上総利益率の増加を目指す

営業利益・経常利益・当期純利益

増収効果と費用管理で利益を確保

下期の売上拡大による利益の押し上げを図るとともに、人件費や採用・広告宣伝費等の販管費を適切に管理し、利益の回復を目指す

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.



03

トピックス

Topics

生成AIサービスの開発と活用ロードマップ

➤ 社内の知見を活かし、当社オリジナルのAIツール「SOFTTEXplorer」を起点に段階的に進化

SOFTTEXplorer

- 全社の知見やノウハウを活用したAIサービス
- 安全な社内生成AI基盤として、社員の業務利用から開発業務まで幅広く支える

STEP 1 全社業務への定着	STEP 2 開発工程への組込み	STEP 3 AI駆動型開発	STEP 4 差別化サービス
利用率・時間削減	**摘要案件・工数削減**	**生産性・品質**	**AI関連売上・粗利**
• SOFTTEXplorer利用拡大 • 共通ルール、教育、ログ管理 • 間接業務の効率化	• 要件・設計・実装・テスト支援 • 標準プロンプトと評価手順 • PM・品質管理支援	• 工程横断の自動化 • 人がレビュー・統制 • 再現可能な開発モデル	• 自社知見・データとの融合 • モダナイ・医療IT等への展開 • 顧客業務の高度化



期待できる効果 ➡ **社内の業務効率化と開発力の強化**

SOFTTEXploreを通じて、業務の生産性向上、開発のスピードアップ、ナレッジの活用促進を実現

AI活用の共通基盤	✅ 機密情報管理 ✅ 著作権・個人情報への配慮 ✅ 人による確認 ✅ 品質保証 ✅ 利用ログ管理

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

その他のトピックス

- ORCA（日医標準レセプトソフト）カンファレンスの受賞及び社団法人への参画など、新たな活動を紹介

2026年度ORCAカンファレンス表彰受賞

WebORCA部門／WebQKAN部門
2部門で第2位を受賞

医療DXを取り巻く環境は大きく変化しており、今後も医療機関の業務効率化と安全・安心なシステム運用を支援し、顧客に寄り添ったサービスを提供する。
来年度以降も、上位を目指す


表彰状

株式会社ソフトテックス殿

貴社は日医標準レセプトソフト（WebORCA）において、普及と発展に多大な貢献をされました。
その実績を高く評価し、本状を贈り感謝の意を表します。

令和八年十月七日

日本医師会ORCA管理機構株式会社
代表取締役会長　城守　国斗

社団法人への参画（2026年7月）

一般社団法人
「あんしん社会デザイン研究所」への参画

代表取締役社長・石黒佳彦が社員として、取締役・小島浩幸が理事として参画。先進技術による社会課題解決と、新たな事業機会の創出へ

「あんしん社会デザイン研究所」とは

企業・医療機関・大学が連携して設立した産学医連携組織。ICTや自動認識技術を活用し、医療・福祉・産業等の課題解決を通じて、安全・安心で持続可能な社会の実現を目指す

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.



04

参考資料

Appendix

- 会社概要
- 成長戦略
- 株主還元

人が主役の情報化社会づくりに貢献する

- **企業理念**「人が主役の情報化社会づくりに貢献します」。人や社会のための技術が経営の視点。
- **基本方針**「私たちの"喜び""幸せ""いきがい"は、私たちの情報技術が、健康で安全・豊かな社会づくりに役立ち、私たちの提供するシステムやサービスによりお客様から感謝されること」

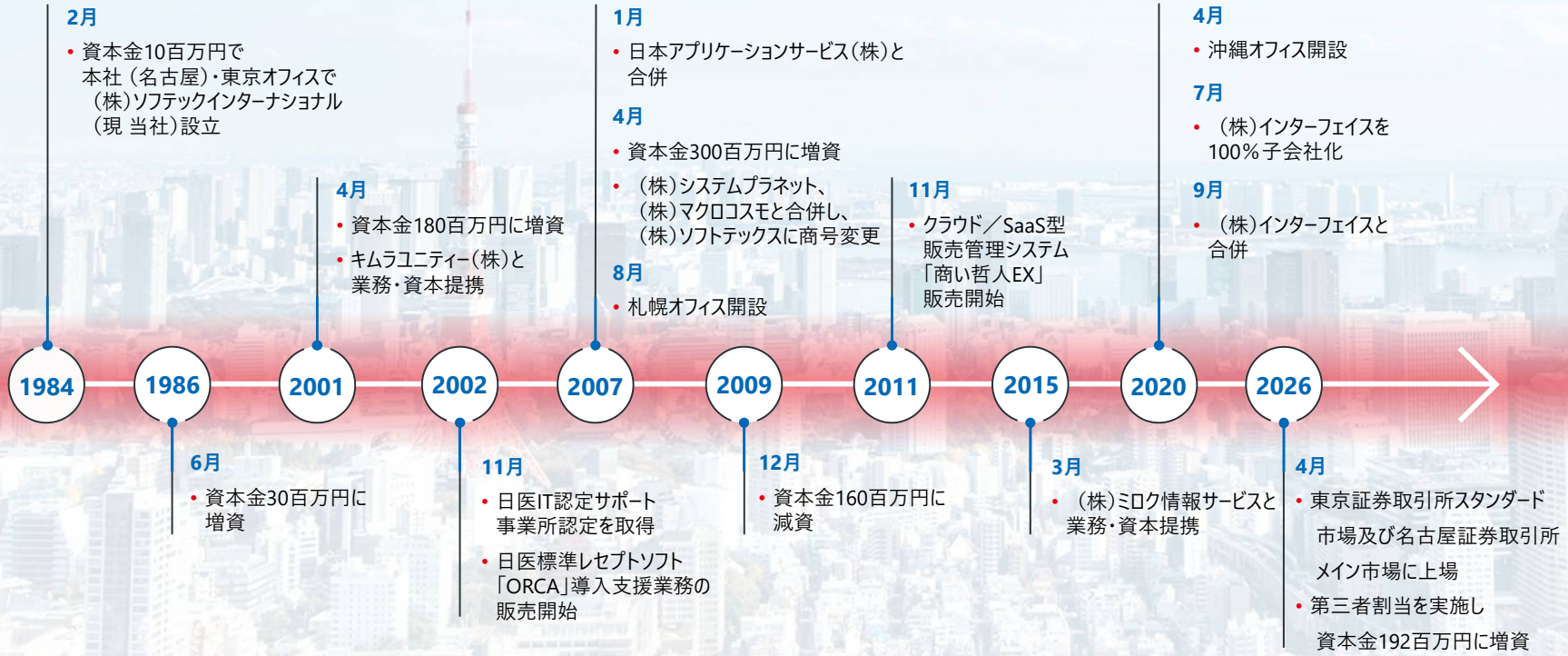
商号	株式会社ソフトテックス（SOFTTEX CO., LTD.）
設立	1984年2月1日
決算期	3月31日
資本金	192百万円（2026年4月現在）
売上高	3,639百万円（2026年3月期）
従業員数	355名（2026年4月現在）
拠点	• 本社（名古屋市） • 東京オフィス（東京都文京区） • 札幌オフィス（札幌市） • 沖縄オフィス（那覇市）
主要顧客	• JBCC㈱ • 日本無線㈱ • 大東建託㈱ • ㈱トヨタシステムズ
事業内容	• コンピュータシステムの設計とソフトウェア開発 • 大手SIベンダー向けの技術支援 • モダナイゼーションサービス • 防災関連システムの構築・導入サポート • 日医標準レセプトソフトの導入・運用サポート・周辺システムの構築
提携会社	• キムラユニティー㈱ • ㈱ミロク情報サービス
取引金融機関	• ㈱三井住友銀行 • ㈱三菱UFJ銀行 • ㈱十六銀行 • ㈱大垣共立銀行



Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

システム運用・保守の専門性を基盤とした事業展開

➤ 多様なシステム開発領域を統合し企業基盤を拡大。



Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

技術と人の力を融合し社会とお客様に価値を提供し続ける

企業理念は「人が主役の情報化社会づくりに貢献します」。人や社会のための技術が経営の視点。

企業理念

人が主役の情報化社会づくりに貢献します



基本方針

私たちの"喜び""幸せ""いきがい"は、
私たちの情報技術が、
健康で安全・豊かな社会づくりに役立ち、
私たちの提供するシステムやサービスにより
お客様から感謝されること



ロゴマークの意味

赤い横線は楔形（くさびがた）の石。
「企業と企業、人と人、技術と技術の結びつきを強力にし、絆を深めていこう」
という思いを込めています。

コーポレートカラーは、ブルーとレッド。
ブルーは企業の信頼、
レッドは社員の情熱を表現。

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

開発から維持・運用・保守まで一貫したシステム開発、技術者支援、医療ITまで幅広いサービスを提供

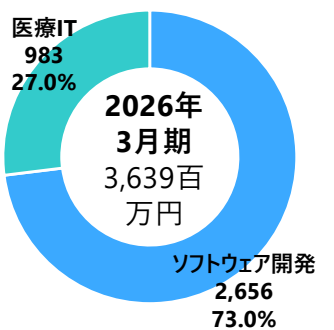
- 独立系のシステム開発会社。ソフトウェア開発サービス及び医療ITサービスの提供を主軸に事業を展開。
- ソフトウェア開発サービスは請負開発（モダナイズ、防災、物流、メディア、クラウド）と技術者支援（SIer支援、直接顧客支援）。
- 医療ITサービスは日医標準レセプト「ORCA」の導入・サポートおよび関連システム開発を行う当社独自の「ORCARE」ビジネスを展開。

部門別事業概要

ソフトウェア開発	クラウドSOL部	オープン系・Web系受託開発	• 先進技術をベースとした開発及び支援（DX推進、クラウド、RPA、アジャイル、超高速開発） • 大規模システムの開発・運用
	モビリティSOL部	大企業様向けサービス支援	• 製造企業向け生産計画システム維持・改善 • システム運用サービス
	モダナイSOL部	マイグレーション	• レガシーシステムと新技術の利点を融合したモダナイゼーション • リバースエンジニアリングツールからのオープンシフトビジネス
	防災SOL部	防災関連システム開発	• 公共向けシステム受託開発 • 組込制御系システム開発 （水防システム、砂防システム、気象情報、河川河口情報、緊急地震速報等）
	首都圏業務SOL部	業務に特化したシステムソリューション	• メディア系受配信システム • 勤怠管理システム • インフラ環境構築等 • 物流システム • 賃貸管理システム
医療IT	メディケアSOL部	医療システム開発・運用支援	• 日本医師会標準レセプトソフト「ORCA」導入・保守 • 各種電子カルテとの連携・保守サービス

売上構成

（単位：百万円）

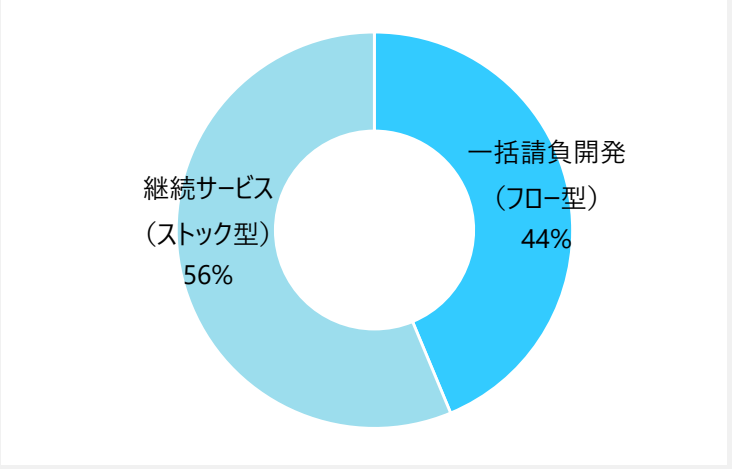


Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

ストック型収入が主体のソフトウェア開発サービス
フロー＆ストックビジネスで高収益を誇る医療ITサービス

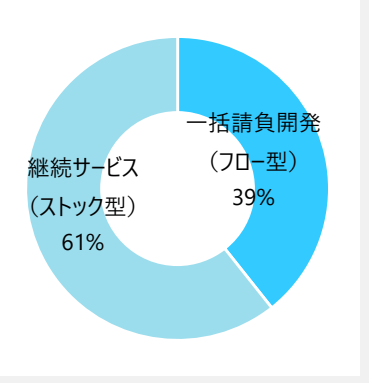
- 請負開発・保守運用は長期的な商流に基づく安定的なフロー型ビジネスであり、技術者支援はストック型ビジネス。
- また、医療ITサービスは「ORCARE」を中心としたフロー＆ストックビジネス。高収益を誇る。
- エンジニア数の拡大と共に高いエンジニア稼働率を維持しており、コスト構造はエンジニア関連の人件費が大勢を占める。

全社フロー＆ストック割合（2026年３月期）

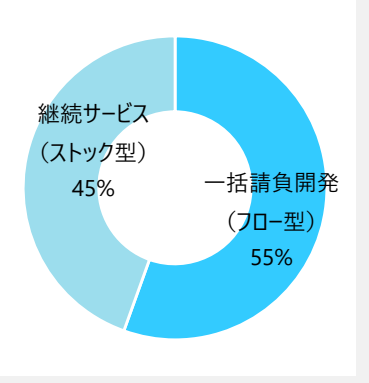


サービス別フロー＆ストック割合（2026年３月期）

ソフトウェア開発サービス
公共、大手製造業とSIerからの
安定的な収益



医療ITサービス
「ORCARE」を中心に積み上げ
粗利率は高水準



Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

長年にわたる取引先との関係性と技術・ノウハウが競争力の源泉

➤ 当社の競争優位性は、ソフトウェア開発企業としての蓄積の結果であり、そのまま医療ITサービスの事業基盤の強さにもつながっている。

当社の競争優位性	競争優位性のキーポイント	
複雑かつ社会性の高いシステムに強み	モダナイズや防災ソリューションのパイオニア	• モダナイゼーションや防災ソリューションなど複雑かつ社会性の高いシステム開発のパイオニア。長期にわたって蓄積された知見・ノウハウに加え最新のテクノロジー導入など高い技術力を獲得 • 基幹システムの維持・開発で大手企業やSIerとの長期的な関係構築により深くシステムを理解
取引先との強い信頼関係	蓄積された知見・ノウハウ	• 多様な顧客に対する開発技術の応用力 • 止められない基幹業務に対する現実的な刷新提案力
強固な事業基盤	付加価値の高い「ORCARE」ビジネス	• 医療機関にとっての日医標準レセプトソフト「ORCA」導入の経済的メリット • システム開発会社としての知見を活かした様々な医療関連ソリューションとの連携・接続プログラムの開発力 • 「日医IT認定サポート事業所」の認定取得および代理店との強固なリレーションシップ

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

安定収益と高付加価値を両立する事業ポートフォリオのさらなる向上

- クラウド・モダナイ・防災・医療ITなど成長性と専門性の高い領域に経営資源を集中し、安定収益と高付加価値の両立を図る。
- 直接顧客取引の拡大、ストック型ビジネスの強化、人材と技術への継続投資を通じ、外部環境の変化に対応する。

区分	部門	成長戦略
ソフトウェア開発	クラウドSOL部	直接顧客拡大で高付加価値型SIへ転換
	モビリティSOL部	請負力強化で安定収益モデルを確立
	モダナイSOL部	レガシー資産を活かすモダナイゼーション支援
	防災SOL部	防災×技術力で社会インフラを支える
	首都圏業務SOL部	首都圏特化で高付加価値業務SIを展開
医療IT	メディケアSOL部	医療DXでストック型成長を加速へ

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

クラウド：直接顧客拡大で高付加価値提供／モビリティ：請負力強化安定収益

クラウドソリューション部

直接顧客拡大で高付加価値型SIへ転換

【直接顧客拡大による高付加価値化】
クラウド移行・DX需要の拡大を成長機会と捉え、Sier取引から直接顧客取引拡大を図る。要件定義から運用まで一貫した価値提供を実現し、収益基盤の安定化と高付加価値化を推進

【先進技術と人材育成による競争力強化】
中小中堅企業に最適化したソリューションモデルを確立し、先進技術と人材育成を軸に継続的な顧客価値を創出



モビリティソリューション部

請負力強化で安定収益モデルを確立

【大型プロジェクトへの継続参画】
製造業を中心とした大手顧客向け支援を軸に、成長性・収益性を重視した顧客構成、請負契約に転換



車両生産計画
ライン稼働状況から計画立案



ファイナンス
顧客信用情報・延滞債権・割賦

【人材スキルの平準化と業務の標準化】
請負体制強化、保守領域拡大、PM育成を通じ、安定収益を確保できる事業体質へ進化

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

モダナイ：モダナイゼーション技術でDX推進／防災：専門性の深化で社会インフラ貢献

モダナイソリューション部

レガシー資産を活かすモダナイゼーション支援

【既存資産を活かしたモダナイゼーション】
レガシーシステムの老朽化・ブラックボックス化に対応し、既存資産を活かしたオープン技術への移行を成長領域と位置付け。DXを「現実的」かつ「着実」に支援

【高難度案件に対応可能な体制構築】
リバースエンジニアリングを起点としたDX・移行支援を強化し、高難度案件に対応可能な技術力・PM力を確立

IBM、NEC、富士通、日立などのプラットフォームに対応

防災ソリューション部

防災×技術力で社会インフラを支える

【防災分野における専門性の深化】
自然災害の激甚化や防災インフラ高度化を背景に、公共分野における防災・組込システム開発を重点成長領域と位置付け


水防システム


砂防システム


河川・河口情報システム

【AI・組込技術を活用した差別化（試験段階）】
次期防災システム開発を起点に、AI・組込技術を活用した製品開発と横展開を推進し、中長期的な事業拡大を目指す

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

首都圏業務：高付加価値で差別化／メディケア：「ORCA」を軸に医療DXを強力推進

首都圏業務ソリューション部

首都圏特化で高付加価値業務SIを展開

【業務特化による首都圏での差別化】
メディア・物流分野に特化（選択と集中）した業務システム開発により専門性と付加価値の高いポジションを確立



メディア系
データシステム管理や配信システム開発、WEBサイト構築



物流・倉庫管理
倉庫会社等の
物流効率の改善

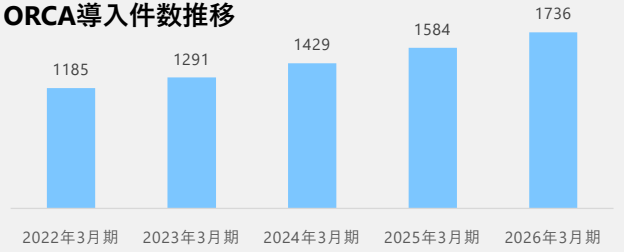
【収益性と成長性を両立し、事業拡大】
得意領域（基幹システムの開発・保守）の請負開発拡大、生成AI活用による生産性改善を通じて、成長性と収益性の向上を目指す

メディケアソリューション部

医療DXでストック型成長を加速へ

【地域ベンダーとの協業によるエリア・顧客基盤拡大】
「ORCA」を中核とした医療ITサービスを成長領域と位置付け、導入・保守から連携開発まで対応体制を強化

ORCA導入件数推移



【高難度案件や新たな医療IT分野への挑戦】
WebORCA・電子カルテ連携開発や医療DX分野への展開を通じ、顧客価値向上と持続的成長を推進

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

その他サービス

- IBM関連システムの保守サービスやAI「Watsonx」活用のシステムなど多様なサービスを展開。
- IBMiとは、IBMが提供するミッドレンジ向けサーバーOS。現在はIBM Power Systems上で稼働する基幹業務向けプラットフォーム。
  旧称はAS/400、iSeries、System i

NEW IBMi保守サービス

トラブル"ゼロ"を支える見えない技術

問題点
- ✕ 属人化してブラックボックスになっている
- ✕ 対応できる技術者が高齢化し引き継げる人がいない
- ✕ 安定稼働していて先任者は必要ないが、何かあったときに不安

熟練の知見で、IBMiを未来へつなぐ

導入メリット
- 大事な基幹サービスを安定サポート
- サポート範囲を柔軟に対応
- IBMi関連技術者が50名以上在籍



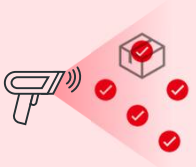
ScanTag エキスパート

仕事を"探す"から、"見える"へ

問題点
- ✕ 実在庫の把握に時間がかかる
- ✕ スマホで在庫状況を把握したい
- ✕ 帳簿在庫と実在庫の一致に課題がある

RFIDが現場をスマートに

導入メリット
- 広い読み取り範囲
- 複数のアイテムを一括で読み取る
- 箱に入れたままでOK



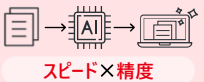
NEW SOFTTEX AI Docs

IBM社のAI"Watsonx"が考える時間を短縮

問題点
- ✕ 手作業では多くの時間と工数を消費
- ✕ 記載のばらつきがあり仕様書の統一性が保ちにくい
- ✕ 更新遅延の問題でプログラム修正・仕様書更新の維持が困難

AIが生む新しい仕様書

導入メリット
- 完全日本語対応の仕様書生成
- お客様独自仕様書フォーマットに対応
- 高い品質による正確性や統一性



・トピックスにある各種製品サービスは前期にリリースしたもので、売上高の10%に満たないものです。

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

QOPrint（医療＋介護請求発行システム）

➤ ORCAとWebQKANをどちらも使用している医療機関様おいて**保険と介護の診療費請求を同時に行う**システム。

NEW **QOPrint**

医療介護請求合算システム

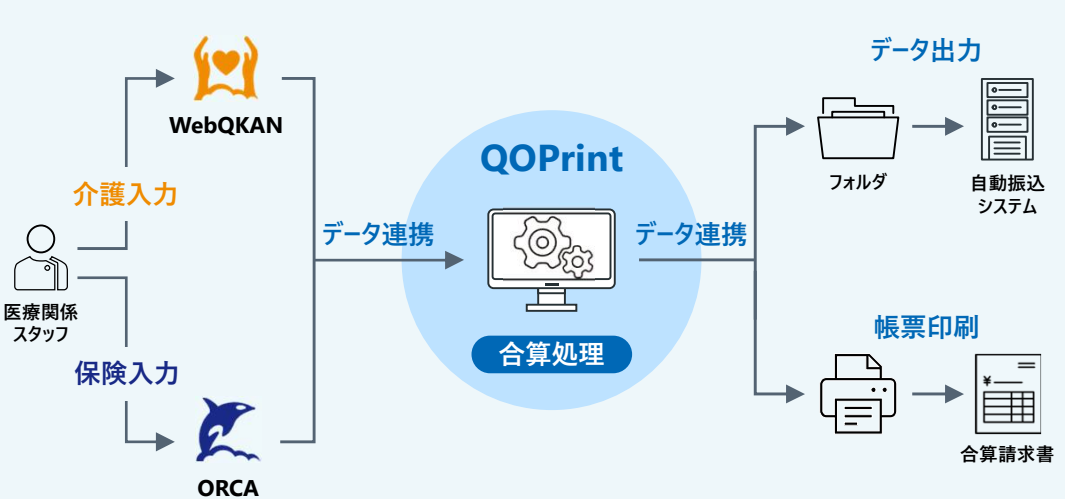
問題点

- ✕ 医療費と介護費の請求金額を別々に確認している
- ✕ 合算請求書の手計算対応で時間と手間がかかっている
- ✕ 医療改定対応業務が大変

ORCA と WebQKANをひとつに

導入メリット

- 医療費と介護費を合算した請求書および領収書の発行が可能
- 全銀フォーマットに対応したデータファイルを出力
- 制度改正等も公式に追随



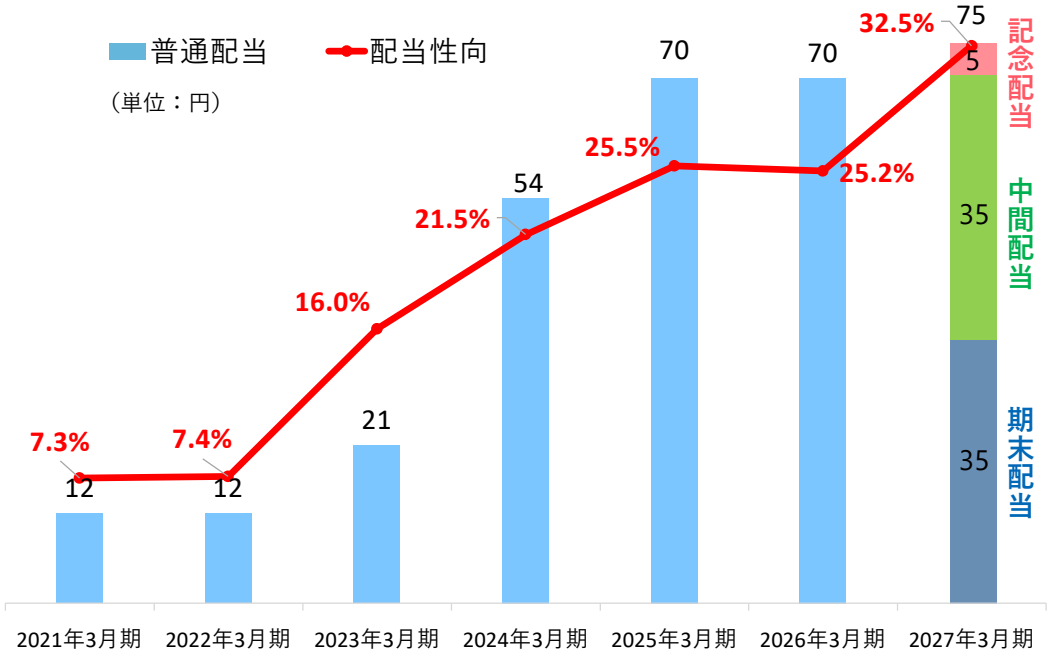
- ✔ 合算請求書を一括発行
- ✔ オンプレ、クラウド連携対応
- ✔ 施設別請求書発行
- ✔ 全銀フォーマット対応
- ✔ 簡単更新
- ✔ 制度改正にも公式に追随

・トピックスにある各種製品サービスは前期にリリースしたもので、売上高の10%に満たないものです。

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

利益還元は配当により実施

➤ これまで利益成長に応じた配当を実施。安定配当を志向し、持続的な株主還元を引き続き継続する。



配当方針

安定配当を志向

利益成長に応じて増配を検討

2027年3月期は、１株当たり年間配当金75円を予定

・2027年3月期の年間配当金は、決定済みの中間配当35円及び記念配当5円に、期末配当予想35円を加えた合計75円を予定しております。

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.

Disclaimer

- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

Copyright © SOFTTEX CO.,LTD. All rights reserved.